







### 工事概要

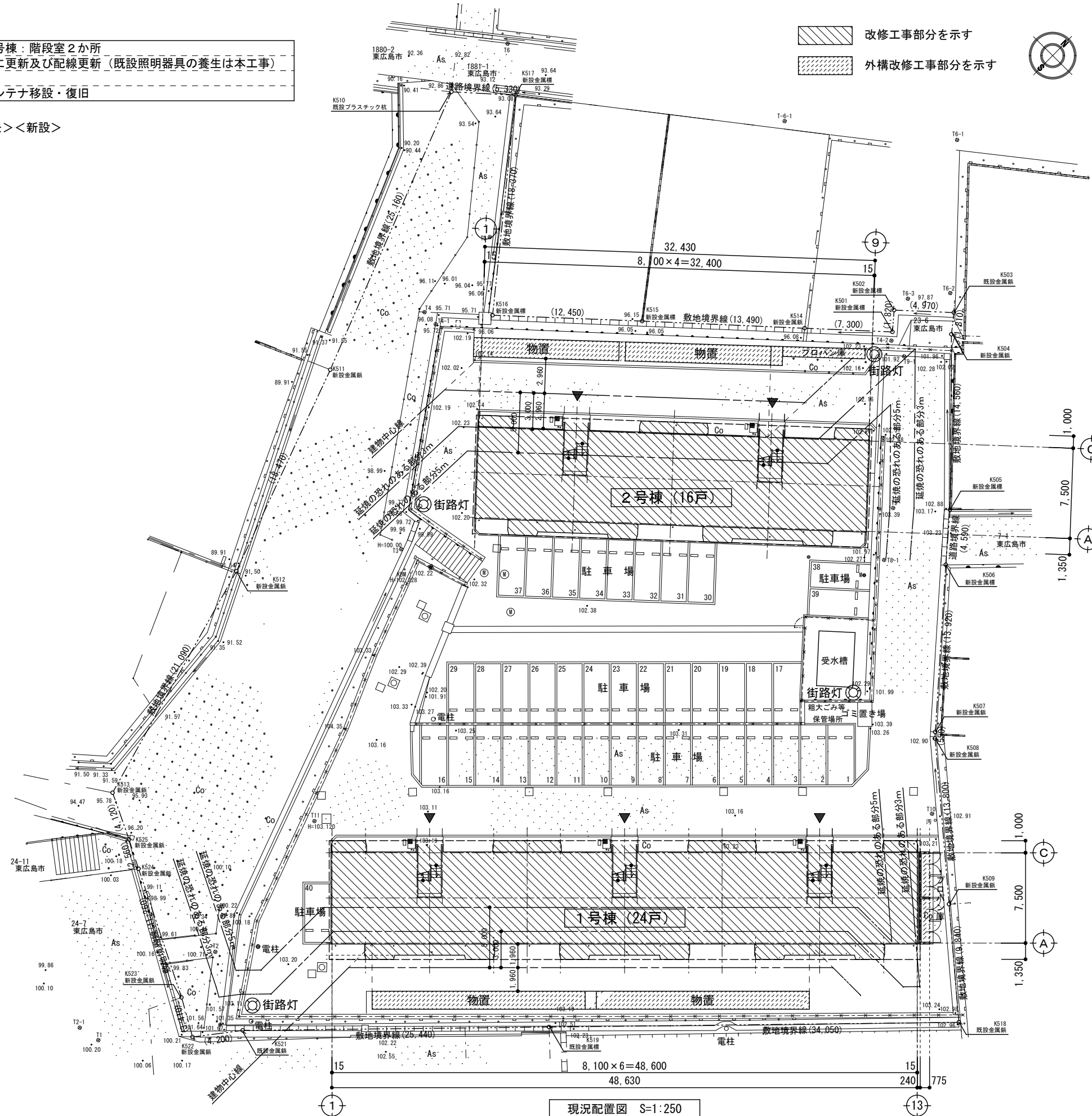
電気設備工事	1号棟：階段室3か所、2号棟：階段室2か所 階段室の照明をLED器具に更新及び配線更新（既設照明器具の養生は本工事） 街路灯の器具更新 バルコニー設置パラボラアンテナ移設・復旧
--------	---

#### 凡例

○ 街路灯 4灯 SP-3<撤去><新設>

改修工事部分を示す

外構改修工事部分を示す



現況配置図 S=1:250

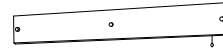
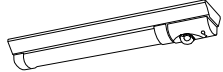
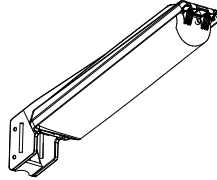
東広島市都市交通部営繕課	設計者・設計事務所名	〒739-0043 広島県東広島市西条西本町25-25 保広コーポ103号室 M A S A A	工事名	令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事	図面内容・縮尺	A 2 : 100%	設計	種別	E
	1級建築士事務所 広島県知事登録23(1)第4982号 1級建築士(登録第294712号) 高藤 聡美	現況配置図・工事概要				A 3 : 71%縮小			令和7年

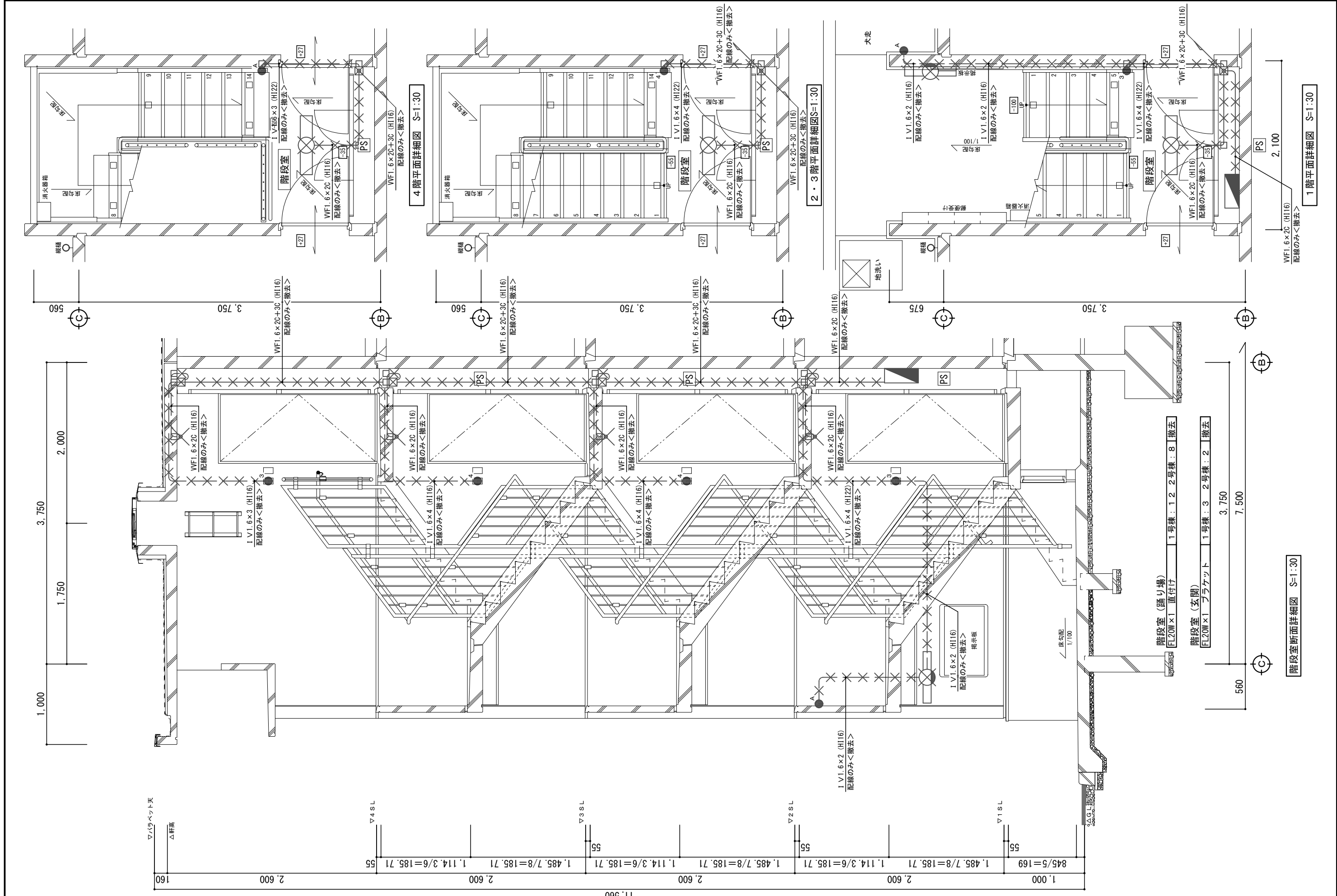
凡例

	電灯分電盤 <既存のまま>
	新設：LED灯 既設：LED (街路灯) ポール<DP塗替え> (建築工事)
	新設：LED灯 既設：蛍光灯 (非常用壁付け 電池内蔵)
	新設：LED灯 既設：蛍光灯 (非常用天井付け 電池内蔵)
	タンブラスイッチ 3W15A×1 <既存のまま>
	タンブラスイッチ 4W15A×1 <既存のまま>
	自動点滅器 <既存のまま>

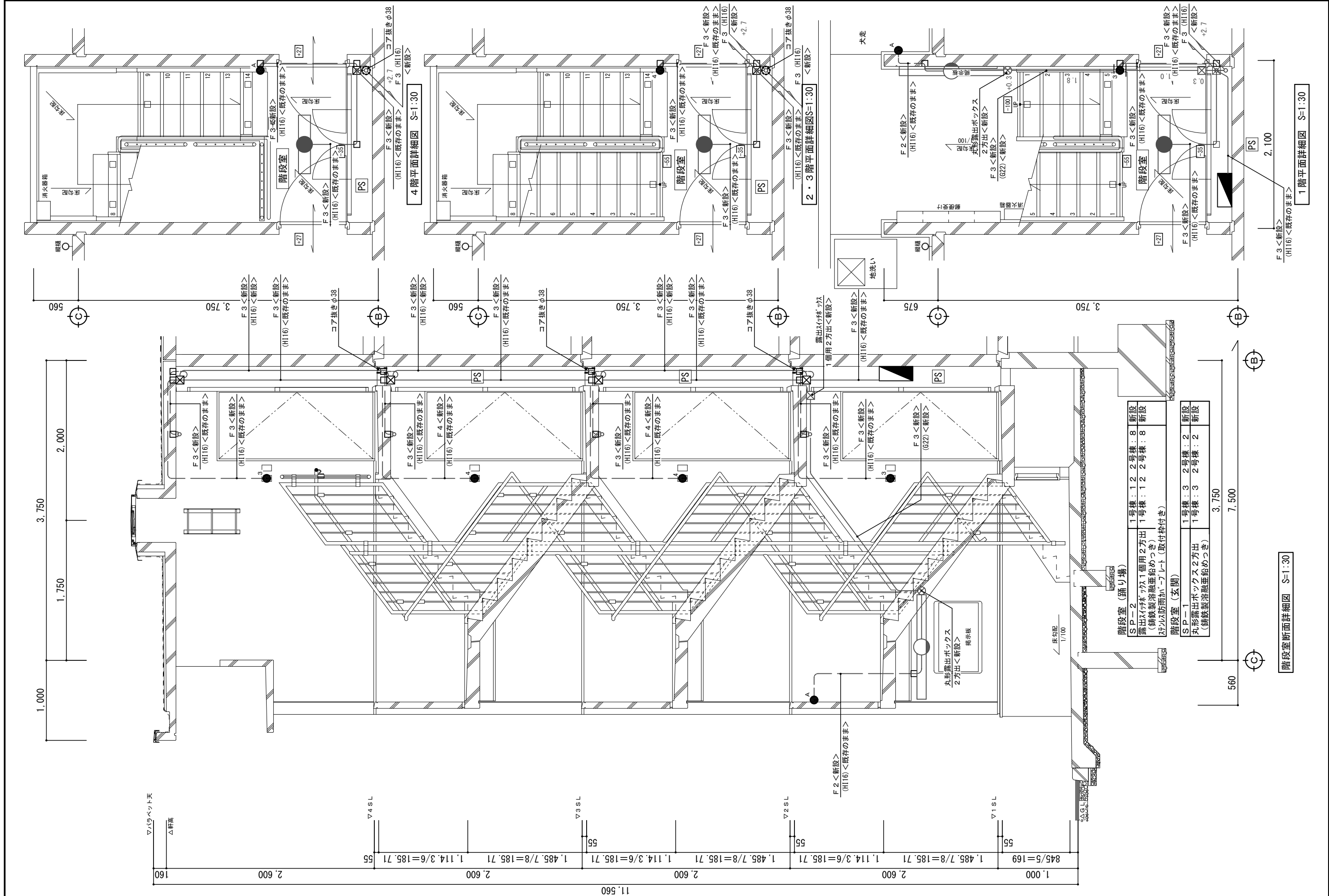
改修後ケーブル	< >内は電線管を明記
F2	EM-EEF1.6-2C
F3	EM-EEF1.6-3C
F4	EM-EEF1.6-2Cx2

- 注記
- 階段室1階(玄関)ブラケット灯は自動点滅器により点灯・点滅
  - 外壁改修完了後に器具更新を行う
  - 更新照明器具が既設照明器具より小さい場合は、器具廻りの塗装改修を行うこと
  - 露出電線管は塗装しない(ボックス共)
  - 入居しながらの工事のため、夕方～翌日朝までは階段室の照明器具全てが点灯できるように工事を進めること
  - 住戸所有のパラボラアンテナを取外し、外部足場に取付<移設> 外壁改修完了後、外部足場解体前に<現況復旧>  
1号棟(102号室φ600 201号室φ1200 202号室φ1200 303号室φ600) 2号棟(303号室φ750)

<p>SP-1 LED非常用照明器具(壁直付型)</p> <p>1階 玄関室(玄関)</p>  <p>屋白色(5000K)、Ra83 器具光束1970lm、消費電力26W、電圧100V IP23防湿型、点検スイッチ付き、蓄電池内蔵 プラスチック(プラチナメタリック) パネル：強化ガラス(片面シルク印刷) パナソニック NWF F41739JLE9 同等品</p> <p>保守率：0.77 KO166586</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">器具取付高さ</th> <th>1.5m</th> <th>2.0m</th> <th>2.5m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> <th>5.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">階 段 配 置</td> <td>Y=1.0m</td> <td>2lx X+</td> <td>3.2</td> <td>3.4</td> <td>3.5</td> <td>3.3</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>1lx x</td> <td>4.3</td> <td>4.6</td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> <td>5.1</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Y=1.5m</td> <td>2lx X+</td> <td>2.9</td> <td>3.1</td> <td>3.3</td> <td>3.0</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1lx x</td> <td>4.1</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Y=2.0m</td> <td>2lx X+</td> <td>2.4</td> <td>2.7</td> <td>2.9</td> <td>3.0</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>1lx x</td> <td>3.8</td> <td>4.1</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> <td>4.8</td> <td>4.7</td> </tr> </tbody> </table>	器具取付高さ		1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m	階 段 配 置	Y=1.0m	2lx X+	3.2	3.4	3.5	3.3	2.5	1lx x	4.3	4.6	4.8	5.0	5.1	5.1	Y=1.5m	2lx X+	2.9	3.1	3.3	3.0	2.4		1lx x	4.1	4.4	4.6	4.8	5.0	4.9	Y=2.0m	2lx X+	2.4	2.7	2.9	3.0	2.3	2.3	1lx x	3.8	4.1	4.4	4.6	4.8	4.7	<p>SP-2 LED非常用照明器具(天井直付型)</p> <p>1～4階 階段室(踊り場)</p>  <p>屋白色(5000K)、Ra83 器具光束800lm、消費電力7W、電圧100V IP23防湿、点検スイッチ付、蓄電池内蔵 非常灯評定番号：LAL E-032、非常用LEDレンズ：ガラス 常用ライトバー：ポリカーボネート(乳白)+アクリルコーティング パナソニック 直付XWG201AGNCL E9 同等品 自己充電モニタ(緑)付、リモコン：FSK90910K(1個)</p> <p>保守率：0.93 KO176206</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">単 体 配 置</td> <td>A1</td> <td>5.3</td> <td>5.6</td> <td>5.8</td> <td>5.9</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>B1</td> <td>5.3</td> <td>5.6</td> <td>5.7</td> <td>5.8</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>B'1</td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> <td>5.1</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直 線 配 置</td> <td>A2</td> <td>12.4</td> <td>13.3</td> <td>13.8</td> <td>14.8</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>B2</td> <td>11.9</td> <td>12.8</td> <td>13.3</td> <td>14.2</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">四 角 配 置</td> <td>A4</td> <td>11.0</td> <td>11.6</td> <td>11.9</td> <td>12.6</td> <td>14.5</td> </tr> <tr> <td>B4</td> <td>10.2</td> <td>11.1</td> <td>11.7</td> <td>12.6</td> <td>14.2</td> </tr> </tbody> </table>	器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単 体 配 置	A1	5.3	5.6	5.8	5.9	4.2	B1	5.3	5.6	5.7	5.8	5.0	B'1	4.8	5.0	5.1	5.0	4.0	直 線 配 置	A2	12.4	13.3	13.8	14.8	16.1	B2	11.9	12.8	13.3	14.2	15.2	四 角 配 置	A4	11.0	11.6	11.9	12.6	14.5	B4	10.2	11.1	11.7	12.6	14.2
器具取付高さ		1.5m	2.0m	2.5m	3.0m	4.0m	5.0m																																																																																																			
階 段 配 置	Y=1.0m	2lx X+	3.2	3.4	3.5	3.3	2.5																																																																																																			
	1lx x	4.3	4.6	4.8	5.0	5.1	5.1																																																																																																			
Y=1.5m	2lx X+	2.9	3.1	3.3	3.0	2.4																																																																																																				
	1lx x	4.1	4.4	4.6	4.8	5.0	4.9																																																																																																			
Y=2.0m	2lx X+	2.4	2.7	2.9	3.0	2.3	2.3																																																																																																			
	1lx x	3.8	4.1	4.4	4.6	4.8	4.7																																																																																																			
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																																				
単 体 配 置	A1	5.3	5.6	5.8	5.9	4.2																																																																																																				
	B1	5.3	5.6	5.7	5.8	5.0																																																																																																				
	B'1	4.8	5.0	5.1	5.0	4.0																																																																																																				
直 線 配 置	A2	12.4	13.3	13.8	14.8	16.1																																																																																																				
	B2	11.9	12.8	13.3	14.2	15.2																																																																																																				
四 角 配 置	A4	11.0	11.6	11.9	12.6	14.5																																																																																																				
	B4	10.2	11.1	11.7	12.6	14.2																																																																																																				
<p>SP-3 LED防犯灯 水銀灯100形相当</p> <p>屋外 街路灯</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、防まつ型、明るさセンサ内蔵、明光色 光束2240lm、消費電力17.9W、電圧100V/200V 屋白色、5500K、Ra80、光束維持時間60000時間(光束維持率80%) 本体：アルミダイカスト(クールホワイト) 前面パネル：アクリル(透明つや消し仕上) 保護等級：IP44、雷サージ15kV ポール既設利用、取付金物 パナソニック NNY20398LE7 同等品</p>																																																																																																										



東広島市都市交通部営繕課	設計者・設計事務所名	〒739-0043 広島県東広島市西条西本町25-25 保広コーポ103号室	工事名	令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事	図面内容・縮尺	A2: 100% A3: 71%縮小 1:30	設計	令和7年	種別	E
	MASAA	1級建築士事務所 広島県知事登録23(1)第4982号 1級建築士(登録第294712号) 高藤 聡美		改修前 階段室 電灯設備					図面番号	4



東広島市都市交通部営繕課	設計者・設計事務所名 MASAA	〒739-0043 広島県東広島市西条西本町25-25 保広コーポ103号室 1級建築士事務所 広島県知事登録23(1)第4982号 1級建築士(登録第2947712号) 高藤 聡美	工事名 令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事	図面内容・縮尺 改修後 階段室 電灯設備 A2:100% A3:71%縮小 1:30	設計	種別
					令和7年	E
					図面番号	5

I. 工事概要等					
1. 工事場所 東広島市西条町助美					
2. 建物概要					
建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1号棟	壁式1階部分鉄筋コンクリート造	地上4階建て	1,473.00	5項(口)	既存
2号棟	壁式1階部分鉄筋コンクリート造	地上4階建て	982.32	5項(口)	既存
3. 工事種目 (○印の付いたものを適用する)					
建物別及び屋外	工事種別				
工事種目	1号棟	2号棟	屋外		
・空気調和設備					
○換気設備	改設一式	改設一式			
・排煙設備					
・自動制御設備					
・衛生器具設備					
○給水設備	改設一式				
・排水設備					
・給湯設備					
・消火設備					
・ガス設備					
・厨房設備					
・浄化槽設備					
・雨水利用設備					
・特殊ガス設備					
・電気設備工事	電気設備工事の部による				
・建築工事	建築工事の部による				
4. 指定部分 ※無し ・有り(工期 令和 年 月 日) 対象部分:					

5. 設備概要 (改修の場合は既存の概要を示す。)	
空	・空気調和( ・ パッケージ方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式
調	・ ファンコイルユニット・ダクト併用方式
設	・単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式)
備	・空気熱源ヒートポンプユニット ・ マルチパッケージ形空気調和機
機	・パッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
器	・ チリングユニット ・ 吸収冷水機 ・ 吸収冷水機ユニット
備	・ 鋼製ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー
換	・ 温水発生機 ( ・ 真空式 ・ 無圧式)
気	・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気
設	・ 機械排煙 ( ・ 有 ・ 無) 適用法規 ( ・ 建基法 ・ 消防法)
排	・ 自動制御方式 ( ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式)
煙	・ 水道直結 ・ 高置タンク ○ ポンプ直送 ・ 水道直結増圧
給	排水方式 建物内の汚水と雑排水 ( ・ 合流 ○ 分流)
水	・ ポンプ排水 ・ 有 ( ・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水 ) ○ 無
放	汚水 ○ 直放流下水管 ・ 浄化槽
流	雑排水 ○ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途樹
排	排水槽 ・ 有 (計画容量: ㎡) ○ 無
生	給湯設備 ○ 有 ( ○ 局所式 ・ 中央式 ) ・ 無
先	熱源 ( ・ 電気 ・ 都市ガス ○ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)
設	・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー
備	・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡給水装置 ○ 粉末消火装置
消	・ 不活性ガス消火 ( ・ 窒素 ) ・ ハロゲン化物消火
火	・ フード等用簡易自動消火装置 ・ 無
設	ガス設備 ・ 都市ガス 種別 ( ) ○ 液化石油ガス
備	浄化槽設備 ・ 有 ( ・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ) ○ 無

II. 工事仕様	
1. 共通仕様	
1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の標準仕様書等による。ただし、○印の付いたものを適用する。	
○ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版(以下「標準仕様書」という。)	
・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版(以下「改修標準仕様書」という。)	
○ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)最新版(以下「標準図」という。)	
2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。	
2. 特記仕様	
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
2) 特記事項のうち選択する事項は ○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は ※ 印を適用する。○印 ⊗印の場合は共に適用する。	

区分	項目	特記事項
一般共通事項	① 施工図等	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。 中国地方整備局制定の営繕工事事業用工作物電気保安規程を( ・ 適用 ・ 準用 ) する。
	2. 保安規定	
	3. 施工条件	
	4. 工事安全計画書	現場説明書による。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を、監督職員に提出する。
51. 建設廃棄物の処理も確認すること	⑤ 発生材の処理等	引渡しを要するもの ・ 有 ( ・ 機器類 ・ 金属類 ) ※ 無し ○印 ⊗印の場合には共に適用する。
	建設工事公衆災害防止対策要綱	特別管理産業廃棄物 ※ 無し ・ 有 ( ・ 配管用保温材 ) 再生資源化を図るもの ※ 無し ・ 有 ( ・ )
石綿含有設備資材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等)は関係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。 撤去機材等(石綿類を含む)の撤出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事 フロン、臭化リチウム液、残油処理の撤出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事		

⑥ 環境への配慮	1) 国等による環境物品等の調達等の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に調達するよう努めるものとする。 2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から⑥を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネ、集材材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 別表-1に示す機材等を使用する場合は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
⑦ 機材の品質等	機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。 機器類は、図示する形状及び配管等の取出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。 1) 機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。 2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された値以下とする。 ・ 建築板金(ダクト製作及び取付) ・ 熱絶縁工(保温工事) ・ 配管(配管工事) ・ 冷凍空調機器施工(冷凍空調機器据付) 建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定 ※ 不要 ・ 要測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は(※ 現場説明書 ・ 図示 ) による。 (※ 標準仕様書 ・ 図示 ) による。 「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン(平成16年1月制定 原子力安全・保安院)」及び「高調波抑制対策技術指針(J E A G 9 7 0 2 - 2 0 1 3)」に基づき、高調波対策を行う。 下記項目の総合調整を行ない測定表を監督職員に提出する。( ・ 部 ) ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びびんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 飲料水の品質の測定 ・ 雑用水の品質の測定 測定箇所等は監督職員との協議による。 ステンレス管に使用するバルブは50A以下は青銅製、65A以上はステンレス製を使用する。 ※ ベローズ形 ・ スリーブ形 ※ 合成ゴム製(球形) ・ ポリテトラフルオロエチレン樹脂製 ・ ベローズ形(ステンレス製) ※ 標準図(施工3)による。 つば付き鋼管製に替えて、非加硫ブチルゴム系止水材でもよい。 1) 形式はビーター管式(コック付)とする。 ※ 固定式 2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 冷凍機の冷水出口 ・ 冷水ヘッドゲーターの各送リ管 ・ 冷凍機の冷却水出口 ・ ユニット形空気調和機の冷水水入口 ( ・ 給水 ・ ガス ・ 油 ) 配管の変位吸収は(※ 標準図(施工4、5) ・ 図示)による。 呼径60S u以下の継手は、メカニカル形とし、S A S 3 2 2を満足するものとする。 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 50A以下 ※ メカニカル接合 ・ 電気融着接合 75A以上 ※ 電気融着接合 ・ ガス配管 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 非破壊検査 ※ 無し ・ 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ・ 放射線透過検査 ・ 標準仕様書による ・ _____ % 鋼管とステンレス鋼管、鋼管と鋼管は(※ 標準図 ・ 図示)による。 ポンプ及び屋外設置機器・ビット内のアンカーボルト、ナットはステンレス(S U S 3 0 4)製とし、屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス(S U S 3 0 4)製又は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは ※ HDZT49 ・ HDZT70 標準仕様書によるほか図示の箇所に掲げる。 1) 屋内露出(一般居室、廊下)の外装は ※ A 1 ・ A 2 2) 冷媒管の保温外装は 屋外露出 ・ 合成樹脂カバー ( A 1 - (イ)・ロ)・V I ) ・ 保温化粧ケース(耐候性樹脂製) 屋外露出 ○ ステンレス鋼板 ( E 2 - (イ)・ロ)・V I ) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐候性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板(溶融亜鉛めっき)
⑧ 機材の承諾図	
9. 図形表示	
10. 容量等の表示	
11. 技能士の適用	
12. 化学物質の濃度測定	
13. インバーター用制御及び操作盤	
14. 総合試運転調整	
15. 弁類	
16. 伸縮管継手	
17. 防振継手	
18. 絶縁継手	
19. スリーブ	
20. 瞬間流量計	
21. 配管の建物導入部	
22. ステンレス鋼管の接合方法	
23. ビニル管の接合方法	
24. ポリエチレン管の接合方法	
25. 溶接配管の検査	
26. 異種管の接続	
27. 支持金物・固定金具	
28. 埋設表示	
29. 保温	

30. 塗装	下記の部分を除去、原則として塗装(標準仕様書第2編3. 2による)を行う。 亜鉛めっきされたもので、常時隠えいされる部分、金属電線管、鋼製架台及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管、カラー亜鉛鉄板面、亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面、樹脂コーティング等をしたもので、常時隠えいされる部分アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム亜鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面、埋設されるもの。 (ただし、防食塗装部分を除く) 塗装を施さない部分・箇所 ※ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場 ただし、残りネジ部及びパイプレンナのチェック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場 (※ A、B、C、D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種) ・ 外部足場 (※ D、E種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ F種)
31. 足場(建築工事)	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は全て受注者の負担とする。 本工事で設置する。(規模及び仕上げの程度は現場説明書による) 構内で作ることが ※ できる ・ できない 1) 埋戻し土は ※ 根切り土の中の良質土(コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)・ 山砂の類 2) 建設発生土は ※ 構内敷きならし ・ 構内の指示ある場所に堆積 ○ 構外に搬出し適切に処理(現場説明書) コンクリートの設計基準強度は ※ 1 8 N / m m 2 以上 ・ 図示による。
32. 工事用電力、水、その他	
33. 監督職員事務所	
34. 工事用仮設物	
35. 土工事	
36. コンクリート工事	
37. あと施工アンカー	施工後確認試験 試験方法 引張試験機による引張り試験 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器( ・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 変圧器 ) 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜きき以上
38. 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確認を行えばよいものとする。 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数( ・ 1. 0 ※ 0. 9 ・ 0. 8 ) と、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 ○ 特定の施設 ・ 一般の施設 設置場所 機器 種別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 機 器 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0 上層階 防振設置機器 2. 0 2. 0 2. 0 1. 5 壁土及び塔屋 水 槽 類 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0 機 器 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6 中間階 防振設置機器 1. 5 1. 5 1. 5 1. 0 水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6 機 器 1. 0 0. 6 0. 6 0. 4 地階・1階 防振設置機器 1. 0 1. 0 1. 0 0. 6 水 槽 類 1. 5 1. 0 1. 0 0. 6 上層階とは地階を除く2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 水槽類にはオイルタンクを含む。 重要機器は次のものを示す。 ・ 給水機器( ・ ) ・ 排水機器( ・ ) ・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器 ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器 2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。 1) EM電線網で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 11による。 2) 電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。 ・ 事前調査(監督職員に報告書提出すること。) 調査内容 調査項目 ・ 改修工事関連部分 ・ 排水放流先 ・ 中央監視盤 ・ 水質確認(SUS腐食) ※ 石綿事前調査 調査範囲 ・ 既存設備システム ・ 図示 調査方法 ・ 現地目視 ・ 既存資料調査(貸与資料 ・ 有 ・ 無し) ・ 図示
40. 施工調査	
41. 撤去工事	撤去する配管、ダクト(付属品含む)の保温材は、配管・ダクト等より分離する。 はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職員に報告する。原則、探査方法は走査型埋設物調査(電磁誘導法または電磁誘導法)とする。放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。 図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。 電気設備工事、建築工事等との合併工事の場合は工種区分とする。( ・ ) 書きの室名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。 (1) 工事完成図書引渡し書 A 4版 (2) 完成図書(A 4版) (3) 諸官庁届出書類一覧表(諸官庁届出書類(正)許可証(E)共) (4) 完成図面・施工図面二折製本 A 3版 (5) 縮小完成図面・施工図面二折製本 A 4版 (6) 工事記録写真 A 4版(工事記録写真) (完成写真) 電子ファイル(PDF形式)
42. 非破壊検査	
43. 他工事との取合い	
44. 天井仕上区分	
45. 完成時の提出書類等	
建築工事に準ずる	

一般共通事項	46. 電子納品	※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。 ※工事写真は「営繕工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。 ※完成図は、原則、CADにて修正を行い、図面枠内の適当な位置に「完成図」と表示する。 ※完成写真は、4. 6電子納品に含めて提出すること。 電子成果品を「営繕工事電子納品要領」(以下、要領という)に基づき作成する。 ※電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。 (1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://shotatsu.prof.hiroshima.lg.jp/asp/index.html (3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ。 受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注、変更、完成、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。 なお、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。 ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で登録を行う。 工事の着手に先立ち、現場の体制・組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。 また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。 約款第11条に規定する工事進捗報告書は、営繕課で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月2回提出する。 (1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県(環境県民局)及び保健所設置政令市等(広島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設(許可対象とならない中間処理施設にあつては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設)で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等(選別を含む)により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。(原則、県内処分) (2) 本工事に伴う再生資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前記(1)に備する施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。従って、正当な理由がある場合を除き再生資源化に要する費用(単価)は変更しない。 (3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理法が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事で、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいく。 設計図書の優先順位は次の順序とする。 ①技術的説明事項(追加説明、質問回答を含む) ②特記仕様書 ③設計図面 ④標準仕様書・標準図 官公署その他への手続き等は、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。 建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に関し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。 工事中及び完成後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応すること ①公共事業労務費調査…工事に実施 (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等) ②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内 現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※ 工事名等の表示板(900mm×600mm) ・ 工事概要等の説明看板(900mm×600mm) 作業期間、交通誘導員を(人/日)配置すること。 ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する。 ・ 別途工事で配置する。(工事名: ) ・ 説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び連の装置等の取扱要領に記載した説明書等を作成する。) ・ 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)
	47. 工事中情報共有システム	
	48. 工事実績情報の登録	
	49. 施工計画書	
50. 履行報告		
⑩ 建設廃棄物の処理		
52. 優先順位		
53. 官公署その他への手続き等		
54. 別契約の関係工事との協調		
55. 調査への対応		
56. 工事現場の表示		
57. 交通誘導員		
58. 説明板等		
59. 工事中の補償		
60. 工事後の補償		
61. 完成引渡しまでの管理		
62. 快適トイレモデル工事 建築工事に準ずる		

品 目	機 材 名	備 考			
		品 目	備 考		
ボイラー	鋼製ボイラー 鋼製ボイラー	鋼製ボイラー	鋼製ボイラー		
温水発生装置	真空式温水発生装置	真空式温水発生装置	真空式温水発生装置		
冷媒機	チリングユニット及び空気調和機	チリングユニット	チリングユニット		
冷却塔	冷却塔	冷却塔	冷却塔		
空気調和機	ユニット形空気調和機	ファンコイルユニット及びセントロファンコイルユニット	ファンコイルユニット		
空気清浄装置	エアフィルター(パネル形・折込み形)	エアフィルター	エアフィルター		
全熱交換器	全熱交換器(回転形・静止形)	全熱交換器	全熱交換器		
代表となる設計者		工事名			
事務所登録番号 広島県知事登録23(1)第4982号		令和8年度	市営住宅建設事業		
高藤 聡美		図面内容・細尺	市営下山住宅外壁等改修工事		
一級建築士登録番号第294712号		特記仕様書(一般共通事項)			
設備工事担当姓	参事	GL	課員	令和7年度	M
審査①	参事	GL	課員		
特記仕様書(一般共通事項)				東広島市都市交通部署営繕課	
1) 建設工事関係書類一式					

空気調和・換気設備	1. 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">外気条件</th> <th colspan="4">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度</th> <th colspan="2">一般系統</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td>9時</td> <td>34.9℃</td> <td>51.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12時</td> <td></td> <td></td> <td>28.0℃</td> <td>45%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14時</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16時</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.2℃</td> <td>69.9%</td> <td>19.0℃</td> <td>40%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	外気条件			室内 (調整目標値)				夏季	温度 (DB)	湿度	一般系統		温度 (DB)	湿度	9時	34.9℃	51.0%					12時			28.0℃	45%			14時							16時							冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%			<p>25. 消音内貼り</p> <p>1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。</p> <p>2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。</p> <p>防振基礎の防振材及び振動絶縁効率率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。</p> <p>26. 防振基礎</p> <p>27. 空調用流体の水質基準</p> <p>日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。</p> <p>28. フィルターの予備品</p> <p>空気調和機器等又は7/4-7/4の装着枚数の100%を予備品 (特付) として納める。7/4(個)は総台数の (50%・100%) に当たる7/4を予備品 (特付) として納める。</p> <p>自動巻取り形及びグリスフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。</p>	<p>排水設備</p> <p>3. 汚水・雑排水及び汚物用水中モーターポンプ</p> <p>4. 接続納付金等</p> <p>5. 樹のコンクリート巻き</p> <p>6. 満水試験継手</p> <p>給湯設備</p> <p>1. 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管</p> <p>・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管</p> <p>2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製業者標準品とする。</p> <p>2. 弁類</p> <p>3. 保温</p> <p>消火設備</p> <p>1. 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 屋内消火栓</p> <p>一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>・ 配管用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</p> <p>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</p> <p>・ ビット内 (SGP-VS)</p> <p>2) 連絡送水管</p> <p>一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40)</p> <p>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</p> <p>・ (STPG370-VS)</p> <p>3) 一般配管用</p> <p>※ 10K ・ 16K</p> <p>1) 暖水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>2) 冷水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>3) 消火配管の保温は次に示す。</p> <p>(屋外露出・寒冷地は保温種別 e2-(h)・VII による)</p> <p>・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリングラウ ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連絡送水管 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連絡放水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>4. 屋内消火栓</p> <p>※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓</p> <p>・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓</p> <p>開閉弁の材質は ・ 鋼製 (要部青銅製) ・ ステンレス鋼製</p> <p>箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>5. 屋外消火栓</p>	<p>石綿含有設備資材の処理について</p> <p>I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法</p> <p>1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。</p> <p>撤去に先立ち、「大気汚染防止法」その他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。</p> <p>2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(1) ダクトフランジ部</p> <p>ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。</p> <p>2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。</p> <p>(2) たわみ継手フランジ部</p> <p>たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。</p> <p>2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。</p> <p>(3) 配管フランジ部</p> <p>配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。</p> <p>(4) 成形保温材付き配管の曲線部</p> <p>成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。</p> <p>2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。</p> <p>3) 配管の切断は、密閉部分の高側約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途)</p> <p>(1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」その他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。</p> <p>(3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書提出する。</p> <p>(4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。</p>
	外気条件			室内 (調整目標値)																																																		
夏季	温度 (DB)	湿度	一般系統		温度 (DB)	湿度																																																
9時	34.9℃	51.0%																																																				
12時			28.0℃	45%																																																		
14時																																																						
16時																																																						
冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%																																																		
2. 配管材料	<p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>2) 膨張・空気抜き・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>4) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管</p> <p>5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>6) 空調用排水 ・ 硬質塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管</p>	<p>3. 弁類</p> <p>4. 空調機用トラップ</p> <p>5. 鋼板製煙道</p> <p>6. ばい煙濃度計</p> <p>7. 冷却塔</p> <p>8. ユニット形 空気調和機</p> <p>9. ファンコイルユニット</p> <p>10. パッケージ形 空気調和機</p> <p>11. マルチパッケージ形 空気調和機</p> <p>12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン</p> <p>13. オイルポンプ</p> <p>14. 地下オイルタンク</p> <p>15. オイルサーピスタック</p> <p>16. ダクト</p> <p>17. チャンパー等</p> <p>18. 吹出口・吸込口のボックス</p> <p>19. グリス除去装置</p> <p>20. 風量測定口</p> <p>21. 温度計</p> <p>22. 圧力計</p> <p>23. 定風量・変風量 ユニット</p> <p>24. 冷温水管等のエア抜き</p>	<p>1. システム構成・機能</p> <p>2. 自動制御機器</p> <p>3. 自動制御機器</p> <p>4. 中央監視制御装置</p> <p>5. 計装工事の配線</p> <p>1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。</p> <p>2) 天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項3.9.電線類の規格による。</p> <p>(機器・盤類はこれによらずともよい)</p> <p>用途</p> <p>①電源線、接地線</p> <p>②電気式の調節器 (サーモ・ヒューミ等) 用電線</p> <p>③各種検出器 (温度・湿度等) 操作器 (バルブ・ダンパー等) における弱電信号、通信線を除く制御線</p> <p>衛生設備</p> <p>1. 一般事項</p> <p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>大便器、小便器には、標記板 (アクリル板に印刷可) を取付ける。</p> <p>形式は (※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型) とする。</p> <p>洗浄水量4リットル/回以下とする。</p> <p>※ 個別感知方式 (※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式</p> <p>電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池</p> <p>3. 自動水栓</p> <p>※ 設置する ・ 取付けない</p> <p>操作方式 ・ 電気開閉式 ( ・ センサー式 ・ タッチスイッチ式 ) ・ 手動式</p> <p>4. 大便器用洗浄弁</p> <p>洗浄水加水方式は ( ・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式 ) とし、付加機能は図示による。</p> <p>※ 標準図 (施工65) ・ 標準図 (施工66)</p> <p>5. 器具と排水管接続</p> <p>6. 水栓</p> <p>水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。</p> <p>給排水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 一般配管用</p> <p>○ 水道用硬質塩化ビニル (CPVC) 鋼管 (SGP-VB・FVB)</p> <p>・ 水道用硬質塩化ビニル (CPVC) 鋼管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管</p> <p>2) 土間配管用</p> <p>・ 水道用硬質塩化ビニル (CPVC) 鋼管 (SGP-VD・FVD)</p> <p>・ 水道用硬質塩化ビニル (CPVC) 鋼管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管</p> <p>3) 地中配管用</p> <p>・ 水道用硬質塩化ビニル (CPVC) 鋼管 (HIVP)</p> <p>・ 水道配用水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン層管</p> <p>1) 公営水道に直接する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。</p> <p>2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。</p> <p>3) 給水引込部の ( ・ 止水栓 ・ 弁類 ) は水道事業者指定品とする。</p> <p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り ( ・ 直読 ・ 遠隔表示 )</p> <p>2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 ( ・ 直読 ・ 遠隔表示 )</p> <p>現地表示式 (直読式) の表示機構は ※ 湿式7桁式 ・ 乾式7桁式</p> <p>遠隔表示式は (※ パルス式 ・ 電文式) 発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材57)</p> <p>2) 子メーター用 ※ 標準図 (機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の事前に設置する。</p> <p>3) 緊急遮断弁装置</p> <p>遮断弁の駆動方式は (※ 電気式 ・ 機械式) とする。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を (※ 設ける ・ 設けけない) もとする。</p> <p>2) 槽式の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁がガス、散水栓がガス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p> <p>排水設備</p> <p>1. 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 屋内汚水管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)</p> <p>(第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP)</p> <p>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>2) 屋内雑排水管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)</p> <p>(第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP)</p> <p>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>3) 通気管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP)</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)</p> <p>4) 屋外排水管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (車道部)</p> <p>記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。</p> <p>2. 排水金物</p>	<p>1. 都市ガス設備</p> <p>2. 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>3. ガス漏れ警報器</p> <p>※ 不要</p> <p>要 (取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>警報器から制御盤、遮断弁までの電線類は別途工事とする。</p> <p>※ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本</p> <p>・ 借用 ・ 買取り</p> <p>・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg</p> <p>・ 借用 ※ 買取り</p> <p>4. 充電容器</p> <p>5. バルク貯槽</p> <p>6. ガスメーター</p> <p>1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</p> <p>2) 子メーター計量方式 ( ・ 直読 (遠隔表示) )</p> <p>施工方法は標準図 (施工73) の ・ (a) ・ (b) ・ (c)</p> <p>施工方法は標準図 (施工74) の ・ (a) ・ (b)</p> <p>7. 容器廻りの配管</p> <p>8. 容器転倒防止</p> <p>浄化槽設備</p> <p>1. 処理種別及び方式</p> <p>・ 小規模合併処理 ( ・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式 )</p> <p>・ 合併処理 ( )</p> <p>2. その他</p> <p>図示による。</p> <p>雨水利用設備</p> <p>1. システム構成その他</p> <p>図示による。</p> <p>2. 配管材料</p> <p>1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA)</p> <p>2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD)</p> <p>3) 地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)</p> <p>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</p> <p>3. 弁類</p> <p>4. 量水器</p> <p>5. 雨水電動遮断弁</p> <p>6. 網かご形スクリーン</p> <p>7. 薬液注入装置</p> <p>構成その他は図示による。</p> <p>冷媒の回収方法について</p> <p>冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は (※ 本工事 ・ 別途工事) とする。</p> <p>(1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。</p> <p>○ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書 (都道府県知事登録) の写し</p> <p>○ 事前確認書の写し</p> <p>○ 回収依頼書の写し</p> <p>○ 引取証明書</p> <p>○ 破壊証明書の写し</p> <p>(2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。</p> <p>○ 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し</p>	<p>フランジ外周部に飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等</p> <p>100 100 100</p> <p>石綿含有ガスケット</p> <p>ダクト切断部</p> <p>機器切断部</p> <p>100</p> <p>配管切断箇所</p> <p>成形保温材に飛散抑制剤の塗布</p> <p>成形保温材前後の保温材撤去</p> <p>配管切断箇所</p> <p>100</p> <p>100</p> <p>ビニールシート等で成形保温材をつまみ、テープ等で密閉</p> <p>ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S-NS</p> <p>成形保温材付き配管撤去要領図 S-NS</p> <p>建築物解体工事 (機械設備の部)</p> <p>I. 工事概要 (解体工事の部)</p> <p>1. 工事内容 (解体工事の部)</p> <p>1) 特記仕様書 (機械設備の部) I. 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。</p> <p>2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。</p> <p>アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。</p> <p>3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)</p> <p>(1) 建物については、</p> <p>① 重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。</p> <p>図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。(コンクリート基礎の撤去は建築に含む。)</p> <p>② 人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。</p> <p>フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。</p> <p>③ 熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、(※ 本工事 ・ 別途工事) とする。</p> <p>(2) その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機により取り壊しとする。</p> <p>(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。</p> <p>図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インパート樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。</p> <p>配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。</p> <p>(4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。</p> <p>(5) 撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。</p> <p>5) 浄化槽内の汚泥採取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。(浄化槽内の汚泥採取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)</p> <p>II. 工事仕様 (解体工事の部)</p> <p>1. 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書 (機械設備工事の部) による。</p>																																																	



代表となる設計者	工事名	令和8年度 市営住宅建設事業		
MASAA		市営恵下山住宅外壁等改修工事		
事務所登録番号 広島県知事登録23(1)第4982号	図面内容・縮尺		令和	M
高橋 聡美			7年度	0.2
一級建築士登録番号第294712号	特記仕様書 (工種別事項)			
東広島市都市交通営繕課				

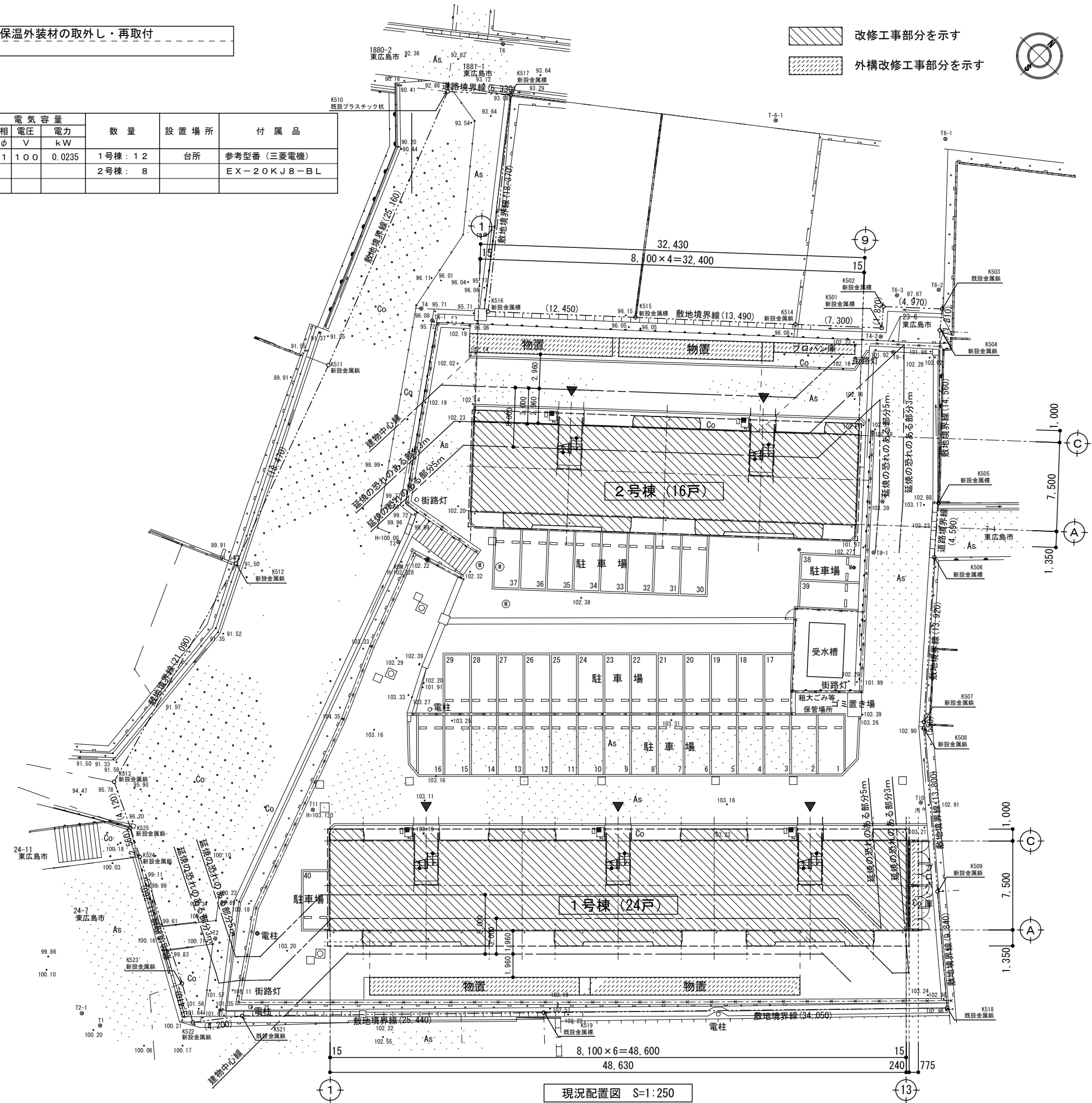
工事概要

機械設備工事	1号棟屋上 防水改修工事に伴い、屋外給水管保温外装材の取外し・再取付
	1・2号棟 台所換気扇一部更新

換気機器表

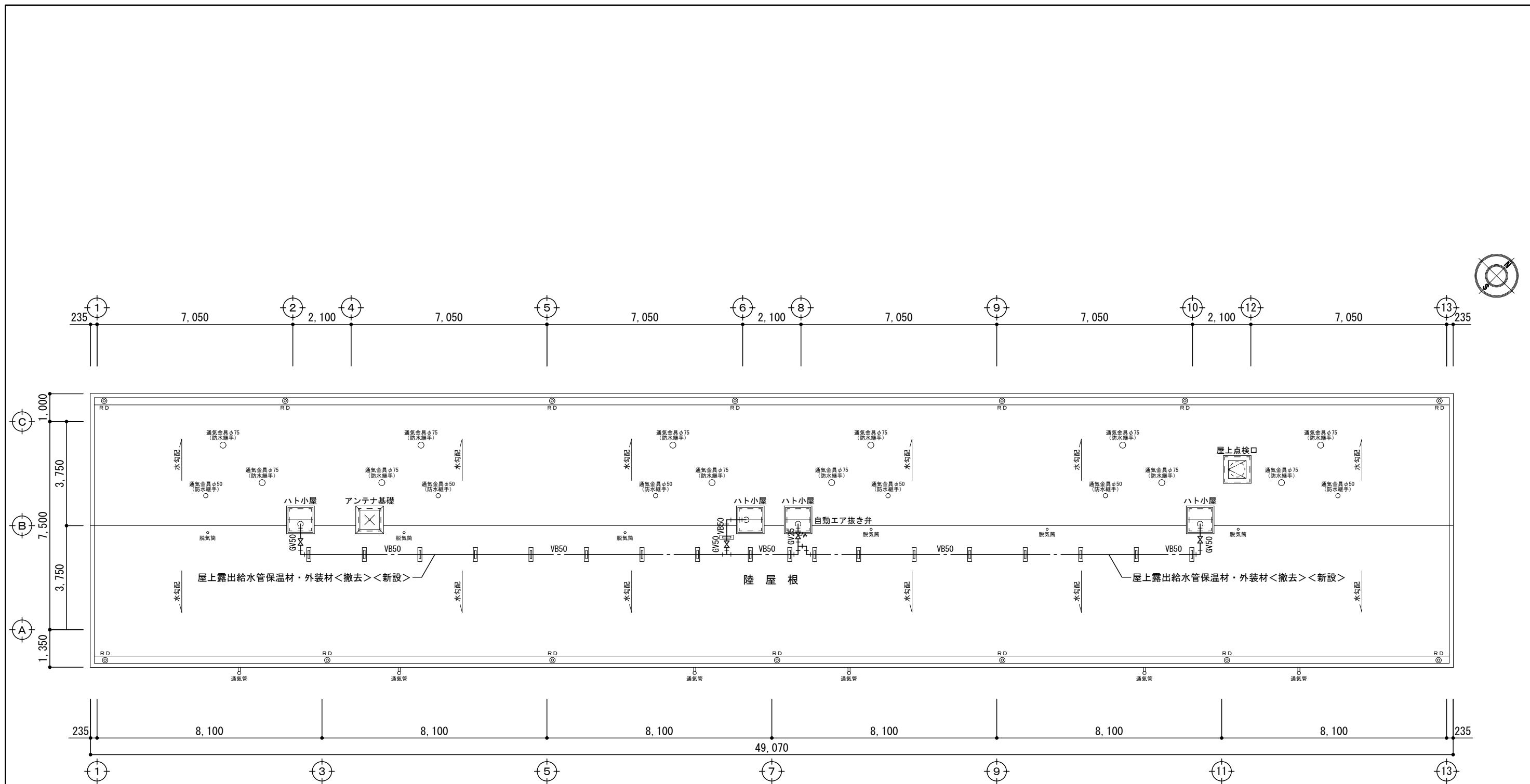
名称	仕様	電気容量		数量	設置場所	付属品
		相電圧 φ V	電力 kW			
台所換気扇	型式 連動式シャッター・連調付き B.L認定品	1100	0.0235	1号棟：12	台所	参考型番（三菱電機）
<撤去>	換気量 φ200 強運転：702m <sup>3</sup> /h 弱運転：564m <sup>3</sup> /h			2号棟：8		EX-20KJ8-BL
<新設>	付属品 電源コード・引きひも付き					

 改修工事部分を示す  
 外構改修工事部分を示す



現況配置図 S=1:250

東広島市都市交通部営繕課	設計者・設計事務所名	〒739-0043 広島県東広島市西条西本町25-25 保広コーポ103号室 M A S A A	工事名	令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事	図面内容・縮尺	A 2 : 100% A 3 : 71%縮小 1:250	設計	令和7年	種別	M
		1級建築士事務所 広島県知事登録23(1)第4982号 1級建築士(登録第294712号) 高藤 聡美							図面番号	3



屋根伏図 S=1:100

※防水改修工事を行うため、屋外露出給水管VB50の保温材・外装材<撤去>  
 防水改修工事完了後、保温材・外装材<新設>  
 給水管・ステンレス架台<既存のまま>

東広島市都市交通部営繕課	設計者・設計事務所名	〒739-0043 広島県東広島市西条西本町25-25 保広コーポ103号室	工事名	図面内容・縮尺	A 2 : 100% A 3 : 71%縮小	設計	種別
	M A S A A	1級建築士事務所 広島県知事登録23(1)第4982号 1級建築士(登録第294712号) 高藤 聡美	令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事	【1号棟】屋上 給排水設備平面図	1:100	令和7年	M
							図面番号
							4

# 参 考 数 量 書

工事名称：令和8年度 市営住宅建設事業  
市営恵下山住宅外壁等改修工事

## <注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。  
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。
- 3 この参考数量書の内容に疑義のある場合は、設計図書に対する質疑書とは別に、別添様式の「数量に関する参考質問応答書」を提出すること。なお、提出期間、閲覧期間及び提出・閲覧方法は、入札公告の質問書提出期間、回答書閲覧期間に掲げる期間及び提出・閲覧方法とする。

## 数量に関する参考質問応答書

番号	質 問 事 項	回 答
工事名称	令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事	
見積者名	印	
東広島市 都市交通部 営繕課		

工事名称 令和8年度 市営住宅建設事業 市営恵下山住宅外壁等改修工事  
工事場所 東広島市西条町助実

単価適用年月日  
・市営工事市場単価 令和8年春号 月単位  
・市営工事複合単価 令和7年8月号(新労務単価適用版) 月単位  
・建設物価 2026-4月号  
・積算資料 2026-4月号  
・建築コスト情報 2026-4月号(春号)  
・建築施工単価 2026-4月号(春号)  
・公共工事設計労務単価 (令和8年3月から適用)  
・広島県令和7年~8年度建設発生土処分先一覧表(令和8年4月改定)  
・広島県令和7年度再資源化施設一覧表  
【コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊】 (令和8年2月一部改定)







名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
1号棟	1	式		
2号棟	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

7

1号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
防水改修		1		式					
外壁改修		1		式					
建具改修		1		式					
内装改修		1		式					
塗装改修		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

建築工事 科目別内訳

8

2号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
防水改修		1		式					
外壁改修		1		式					
建具改修		1		式					
内装改修		1		式					
塗装改修		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

建築工事 科目別内訳

9

屋外									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
外構工事		1			式				
発生材処理		1			式				
	計								

電気設備工事 科目別内訳

10

1号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
電灯設備		1			式				
テレビ共同受信設備		1			式				
発生材処理		1			式				
	計								

電気設備工事 科目別内訳

2号棟									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
電灯設備		1			式				
テレビ共同受信設備		1			式				
発生材処理		1			式				
	計								

電気設備工事 科目別内訳

屋外									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
電灯設備		1			式				
発生材処理		1			式				
	計								

機械設備工事 科目別内訳

13

1号棟								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
給水設備		1		式				
換気設備		1		式				
発生材処理		1		式				
	計							

機械設備工事 科目別内訳

14

2号棟								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
換気設備		1		式				
発生材処理		1		式				
	計							

建築工事 中科目別内訳

15

1号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

16

1号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

2号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

2号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

屋外					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外構工事	プロバン庫(1号棟)	1	式		
外構工事	プロバン庫(2号棟)	1	式		
外構工事	物置(1号棟)	1	式		
外構工事	物置(2号棟)	1	式		
外構工事	街路灯ポール 塗装改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

電気設備工事 中科目別内訳

1号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					
テレビ共同受信設備		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

2号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					
テレビ共同受信設備		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

屋外					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

機械設備工事 中科目別内訳

23

1号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
給水設備		1	式		
計					
換気設備	ダクト設備	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

機械設備工事 中科目別内訳

24

2号棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
換気設備	ダクト設備	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

1号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生	階段室含む	1	式			別紙 00-0001
整理清掃後片付け	階段室含む	1	式			別紙 00-0002
外部足場		1	式			別紙 00-0003
内部足場		1	式			別紙 00-0004
災害防止		1	式			別紙 00-0005
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0006
計						

1号棟		防水改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部防水						
屋上	既存防水層：改質アスファルト露出防水					
アルミ笠木 取外し・再取付	アルミ既製品W150	117	m			
ドレン廻り防水層 及び上皿キャップ 撤去	集積共	14	か所			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	61.7	m <sup>2</sup>			
防水端部金物撤去	アルミ金物押え 集積共	16.4	m			
防水端部シーリング 撤去	集積共	143	m			
スルス脱気筒 撤去	平滑処理共	6	か所			
通気金具 (防水継手)カバー	取外し・再取付 100・75用	18	か所			
ゴムマット撤去	t8×540×200 給水管架台	19	か所			
小計						
たてどい撤去	VP管 集積共	165	m			
シーリング撤去	集積共	1,420	m			
計						

1号棟		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部防水						
屋上	既存防水層：改質アスファルト露出防水					
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	509	m <sup>2</sup>			
既存防水層 ふくれ部処理	防水層浮き部	1	か所			
改質アスファルト 露出防水 平場	A S - J 2 (常温粘着工法)	442	m <sup>2</sup>			
改質アスファルト 露出防水 立上り	A S - J 2 (常温粘着工法) 側溝・笠木・基礎立上り	61.7	m <sup>2</sup>			
改質アスファルト 露出防水 立上り	A S - J 2 (常温粘着工法) 通気金具(防水継手) 100・75用	18	か所			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	複合防水 屋上点検口立上り	1.5	m <sup>2</sup>			
防水押え	アルミ製 L-30×15×t2.0	16.4	m			
防水端未シリング		143	m			
改修用ドレン取付	防水層増し張り共	14	か所			
給水管支持部材 浮かせ	ジャッキアップ	19	か所			
ゴムマット新設	t8×540×200 給水管架台	19	か所			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	X - 2 ハト小屋天端・立上り アンテナ基礎天端・立上り	4	m <sup>2</sup>			
下地調整	エポキシ樹脂珪藻土1.0程度 ハト小屋天端・立上り アンテナ基礎天端・立上り	4	m <sup>2</sup>			

1号棟		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
小計						
バルコニー	既存防水層：ウレタン系塗膜防水					
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	338	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 平場	X - 2 (粗面仕上げ)	142	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	X - 2 立上り・排水溝・手すり壁天端	197	m <sup>2</sup>			
住戸エアコン 移動・浮かせ	ジャッキアップ等・現況復旧共 (24戸・空き室2戸)×2台	44	台			
小計						
窓庇 階段庇						
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	19.5	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 平場	X - 2	15.5	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	X - 2 立上り・排水溝・手すり壁天端	4	m <sup>2</sup>			
小計						
縦樋						
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カ-	径75	165	m			
小計						



1号棟		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	タイル-珪藻土塗替改修	6.5	m <sup>2</sup>			
A - 2 珪藻土表面劣化処理		6.5	m <sup>2</sup>			
D - 1 珪藻土はつり	0.25m <sup>2</sup> 以上	0.4	m <sup>2</sup>			
E - 3 珪藻土欠損部処理	ポリマーセメント	0.1	m <sup>2</sup>			
カッター縁切り		2	m			
小計						
計						

1号棟		建具改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング撤去		1	式			別紙 00-0008
計						



1号棟		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
目隠し壁	ルネア L板 t5	43.9	m <sup>2</sup>			
バルコニー隔て板	W690×H1,800 アルミ枠 ケイ化t5塗装品(両面) 避難ステッカー共	20	か所			
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS304 オールアンカー M8 L50 壁面	60	本			
郵便受け 新設	SUS304 4列2段8戸用 W1,295×H519×D140	3	か所			
掲示板 新設	アルミ製枠 W900×H600	3	か所			
室名札 再取付	P S 扉	24	か所			
消火器箱 壁掛け 新設	SUS304 消火器10型1本用	9	か所			
消火器箱 壁掛け 再取付	階段室	3	か所			
計						

1号棟		塗装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部塗装						
N A D 塗り	成形外板面 工程A種 素地B種	87.8	m <sup>2</sup>			
N A D 塗替え 改修仕様	塩ビ管面 下地調整 R B 種	28.2	m <sup>2</sup>			
D P 塗替え 改修仕様	妻面棟番号 アルミ面 1級 下地調整 R B 種	1.1	m <sup>2</sup>			
D P 塗替え 改修仕様	鉄鋼面 1級 錆止め塗装Es種・工程C種 下地調整 R B 種	356	m <sup>2</sup>			
D P 塗替え 改修仕様	亜鉛めっき鋼面 1級 錆止め塗装Bz種・工程C種 下地調整 R C 種	9.2	m <sup>2</sup>			
ノリ・樹脂 樹脂 塗替	鋳鉄製ドレン・通気金具加工 塗替	3.9	m <sup>2</sup>			
計						

1号棟		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0010
発生材運搬		1	式			別紙 00-0011
計						

1号棟		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0012
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0013
計						

2号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生	階段室含む	1	式			別紙 00-0014
整理清掃後片付け	階段室含む	1	式			別紙 00-0015
外部足場		1	式			別紙 00-0016
内部足場		1	式			別紙 00-0017
災害防止		1	式			別紙 00-0018
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0019
メッシュフェンス 取外し再取付	2号棟東面 L12.0×H1.2m メッシュフェンス 取外し・再取付	12	m			
計						

2号棟		防水改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部防水						
屋上	既存防水層：改質アスファルト露出防水					
アルミ笠木 取外し・再取付	アルミ既製品W150	85	m			
ドレン廻り防水層 及び上皿キャップ 撤去	集積共	10	か所			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	40.1	m <sup>2</sup>			
防水端部金物撤去	アルミ金物押え 集積共	3.6	m			
防水端末シリング 撤去	集積共	97.6	m			
ステンレス脱気筒 撤去	平滑処理共	4	か所			
通気金具 (防水継手)カバー	取外し・再取付 100・75用	12	か所			
小計						
たてどい撤去	VP管 集積共	118	m			
シリング 撤去	集積共	1,050	m			
計						

建築工事 細目別内訳

2号棟		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部防水						
屋上	既存防水層：改質アスファルト露出防水					
高压水洗浄	150～200kg/cm2	340	m <sup>2</sup>			
既存防水層 ふくれ部処理	防水層浮き部	1	か所			
改質アスファルト 露出防水 平場	A S - J 2 (常温粘着工法)	297	m <sup>2</sup>			
改質アスファルト 露出防水 立上り	A S - J 2 (常温粘着工法) 側溝・笠木・基礎立上り	40.1	m <sup>2</sup>			
改質アスファルト 露出防水 立上り	A S - J 2 (常温粘着工法) 通気金具(防水継手) 100・75用	12	か所			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	複合防水 屋上点検口立上り	1.5	m <sup>2</sup>			
防水押え	アルミ製 L-30×15×t2.0	3.6	m			
防水端末シリング		97.6	m			
改修用ドレン取付	防水層増し張り共	10	か所			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	X - 2 アンテナ基礎天端・立上り	1.3	m <sup>2</sup>			
下地調整	珪藻土樹脂珪砂t1.0程度 アンテナ基礎天端・立上り	1.3	m <sup>2</sup>			
小計						
バルコニー	既存防水層：ウレタン系塗膜防水					

建築工事 細目別内訳

2号棟		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高压水洗浄	150～200kg/cm2	224	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 平場	X - 2 (粗面仕上げ)	94.2	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	X - 2 立上り・排水溝・手すり壁天端	130	m <sup>2</sup>			
住戸エアコン 移動・浮かせ	シフトアップ等・現況復旧共 (16戸-空き室2戸)×2台	28	台			
小計						
窓庇 階段庇						
高压水洗浄	150～200kg/cm2	13.1	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 平場	X - 2	10.4	m <sup>2</sup>			
ウレタン系 塗膜防水 立上り	X - 2 立上り・排水溝・手すり壁天端	2.7	m <sup>2</sup>			
小計						
縦樋						
硬質ポリ塩化ビニル管 径75(カラー)	径75	118	m			
小計						
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2)	1	式			別紙 00-0020
計						

2号棟		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打放 外壁面						
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	1,522	m <sup>2</sup>			
高圧水洗浄	150～200kg/cm <sup>2</sup>	1,514	m <sup>2</sup>			
A - 1 打放し面表面劣化 処理		8	m <sup>2</sup>			
シーリング工法	ひび割れ幅0.2mm未満 可とう形エポキシ樹脂	10.8	m			
C - 1 カッター部打放し面サ ビ鉄筋処理		2.5	m			
E - 1 打放し面充填工法	ポリマーセメント	1.9	m <sup>2</sup>			
E - 2 打放し面欠損部処 理	ポリマーセメント	0.1	m <sup>2</sup>			
軒天用仕上げ塗材 揚げ裏	水性アクリル樹脂系 エター化研/キルックセラ同等品	273	m <sup>2</sup>			
可とう形改修塗材 R E 外壁	ローラー 主材 1回上塗 2回 シリコン 薄付け仕上げ	837	m <sup>2</sup>			
可とう形改修塗材 R E 外壁	ローラー 主材 1回上塗 2回 シリコン 厚付け仕上げ	4.9	m <sup>2</sup>			
腰壁 下地調整材仕上げ	C - 2	81.5	m <sup>2</sup>			
2号棟東面擁壁	劣化補修	1	式			別紙 00-0021
2号棟東面擁壁	劣化改修					
小計						

2号棟		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル面						
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・珪藻土塗替改修	5.1	m <sup>2</sup>			
高圧水洗浄	150～200kg/cm <sup>2</sup>	5.1	m <sup>2</sup>			
D - 1 珪藻土面はつり	0.25m <sup>2</sup> 以上	0.2	m <sup>2</sup>			
カッター縁切り		0.8	m			
小計						
計						



2号棟		内装改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁合板・ボード撤去	一重張り 石綿含有 集積共	29.3	㎡			
バルコニー隔て板撤去	W690×H1,800 鋼製枠 石綿含有石綿板 t5	12	か所			
郵便受け撤去	鋼製 4列2段8戸用 W1,295×H515×D140	2	か所			
掲示板撤去	アルミ製枠 W900×H600	2	か所			
室名札取外し	P S 扉	16	か所			
消火器箱 壁掛け撤去	鋼製 消火器10型1本用	8	か所			
計						

2号棟		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
目隠し壁	アルミ製 鋼板 t5	29.3	㎡			
バルコニー隔て板	W690×H1,800 アルミ枠 ケイ酸t5塗装品（両面） 避難ステッカー共	12	か所			
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS304 オールアンカ-M8 L50 壁面	36	本			
郵便受け新設	SUS304 4列2段8戸用 W1,295×H519×D140	2	か所			
掲示板新設	アルミ製枠 W900×H600	2	か所			
室名札再取付	P S 扉	16	か所			
消火器箱 壁掛け新設	SUS304 消火器10型1本用	8	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

2号棟		塗装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部塗装						
NAD塗り	成形外板面 工程A種 素地B種	58.6	m <sup>2</sup>			
NAD塗替え 改修仕様	塩ビ管面 下地調整RB種	18.7	m <sup>2</sup>			
DP塗替え 改修仕様	裏面棟番号 アルミ面 1級 下地調整RB種	1.6	m <sup>2</sup>			
DP塗替え 改修仕様	鉄鋼面 1級 錆止め塗装Es種・工程C種 下地調整RB種	240	m <sup>2</sup>			
DP塗替え 改修仕様	亜鉛めっき鋼面 1級 錆止め塗装Bz種・工程C種 下地調整RC種	6	m <sup>2</sup>			
ノリコート 砂樹脂 塗替	鋳鉄製ドレン・通気金具加工 塗替	2.7	m <sup>2</sup>			
計						

建築工事 細目別内訳

2号棟		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0024
発生材運搬		1	式			別紙 00-0025
計						

2号棟		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0026
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0027
計						

屋外		外構工事		プロバン庫(1号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		5.8	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(外壁改修)		5.8	m <sup>2</sup>			
外部仕上足場	脚立足場	5.8	m <sup>2</sup>			
施工数量調査(外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	18.3	m <sup>2</sup>			
高圧水洗浄	150 ~ 200kg/cm <sup>2</sup>	18.3	m <sup>2</sup>			
可とう形改修塗材RE外壁	ローラー 主材1回上塗2回シリコン 薄付け仕上げ	16.9	m <sup>2</sup>			
屋根大波スレート撤去	石綿含有	9	m <sup>2</sup>			
屋根大波スレート葺き	無石綿	7.9	m <sup>2</sup>			
屋根 けらば	大波スレート 無石綿	2.1	m			
消火器箱 壁掛け撤去	鋼製 消火器20型2本用	1	か所			
消火器箱 壁掛け新設	SUS304 消火器20型2本用	1	か所			
DP塗替え改修仕様	鉄鋼面 1級 錆止め塗装Es種・工程C種 下地調整RB種	19	m <sup>2</sup>			
計						

屋外		外構工事		プロパン庫(2号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		5.2	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(外壁改修)		5.2	m <sup>2</sup>			
外部仕上足場	脚立足場	5.2	m <sup>2</sup>			
施工数量調査(外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	16.8	m <sup>2</sup>			
高圧水洗浄	150~200kg/cm <sup>2</sup>	25.2	m <sup>2</sup>			
可とう形改修塗材RE外壁	ローラー 主材1回上塗2回シリコン 薄付け仕上げ	15.5	m <sup>2</sup>			
消火器箱 壁掛け取外し		1	か所			
消火器箱 壁掛け再取付		1	か所			
DP塗替え改修仕様	鉄鋼面 1級 錆止め塗装Es種・工程C種 下地調整RB種	15.8	m <sup>2</sup>			
計						

屋外		外構工事		物置(1号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方	小規模	29.4	m <sup>2</sup>			
墨出し	小規模 -	29.4	m <sup>2</sup>			
養生	小規模 -	29.4	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け	小規模 -	29.4	m <sup>2</sup>			
1号棟 物置撤去	敷き鉄板・軒樋・縦樋・木造物入集積共	1	式			
アーカー 1本切断		52	本			
カッター入れ	アスファルト舗装面	4	m			
アスファルト舗装撤去	t50	0.2	m <sup>3</sup>			
クラッシャー撤去	根切り 人力土工	0.6	m <sup>3</sup>			
根切り	人力土工 -	0.4	m <sup>3</sup>			
砂利地業	再生クラッシャー	0.4	m <sup>3</sup>			
鉄筋コンクリート用異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	0.1	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.1	t			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	0.8	m <sup>3</sup>			

屋外		外構工事			物置(1号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎程度 S15~S18	0.8	m <sup>3</sup>				
普通型枠	小型構造物	0.6	m <sup>2</sup>				
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	0.6	m <sup>2</sup>				
工外	材工共 厚さ25mm 幅150mm	7.9	m				
床コンクリート直均し仕上げ		3.9	m <sup>2</sup>				
高圧水洗浄	150~200kg/cm <sup>2</sup>	67.7	m <sup>2</sup>				
モルタル詰め	既存アンカー撤去部 縦樋撤去部 メッシュ支柱部	52	か所				
物入	間口1.5×奥行0.8×高さ2.1m ヨドコウLMD-1508同等品 内アンカー共	24	か所				
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS304 オールアンカーM12 L70 床面	96	本				
室名札	亚克力板 t3×W150×H50 部屋番号インゲット出力	24	か所				
計							

屋外		外構工事			物置(2号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
遣方	小規模	19.6	m <sup>2</sup>				
墨出し	小規模 -	19.6	m <sup>2</sup>				
養生	小規模 -	19.6	m <sup>2</sup>				
整理清掃 後片付け	小規模 -	19.6	m <sup>2</sup>				
2号棟 物置撤去	軒樋・縦樋・水切り・木造物入 集積共	1	式				
アンカー切断		36	本				
カッター入れ	アスファルト舗装表面	2.1	m				
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20~30mm	1.9	m				
アスファルト舗装 撤去	t50	0.1	m <sup>3</sup>				
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	0.4	m <sup>3</sup>				
クラッシュラン 撤去	根切り 人力土工	0.4	m <sup>3</sup>				
根切り	人力土工 -	0.1	m <sup>3</sup>				
埋戻し	人力土工 -	0.1	m <sup>3</sup>				
砂利地業	再生クワッチャン	0.4	m <sup>3</sup>				
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13 少量	0.1	t				

屋外	外構工事			物置 (2号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート用異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10 少量	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	0.1	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.1	t			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	0.6	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S18 粗骨材20	0.1	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎程度 S15~S18	0.7	m3			
普通型枠	小型構造物	1.1	m <sup>2</sup>			
型枠運搬	4t車 2階建以下	1.1	m <sup>2</sup>			
トラス材	材工共 厚さ25mm 幅150mm	19.8	m			
スリーブ メッシュ支柱	紙フェープ 円形型枠 75 L450 材工共	2	か所			
床コンクリート 直均し仕上げ		3.7	m <sup>2</sup>			
床 既設基礎天端	速乾型セメント系有機性アクリル樹脂EM7 金こて押え	42.3	m <sup>2</sup>			
モルタル詰め	既成アンカー撤去部 縦樋撤去部 メッシュ支柱部	40	か所			
物入	間口1.5×奥行0.8×高さ2.1m ヨドコウLMD-1508同等品 内アンカー共	16	か所			
あと施工アンカー	金属拡張アンカー SUS304 オパールM12 L70 床面	64	本			

屋外	外構工事			物置 (2号棟)		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
室名札	アクリル板t3×W150×H50 部屋番号インキジェット出力	16	か所			
メッシュ支柱 物置西端部	H1,500 基礎別途 既設支柱1本利用 支柱1本新設	1	か所			
メッシュ支柱 物置西端部	H1,500 基礎別途 支柱1本新設(壁固定) 支柱1本新設(床埋込)	1	か所			
計						

屋外		外構工事		街路灯ポール 塗装改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(内部改修)	塗装塗替え程度	16	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)	塗装塗替え程度	16	m <sup>2</sup>			
移動足場 (D-リフト等)	W=1.5×H=3.7m 2段	1	台			
D P 塗替え 改修仕様	鉄鋼面 1級 錆止め塗装Es種・工程C種 下地調整R B種	3.8	m <sup>2</sup>			
N A D 塗替え 改修仕様	塩ビ管面 下地調整R B種	0.4	m <sup>2</sup>			
計						

屋外		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0028
発生材運搬		1	式			別紙 00-0029
計						

屋外		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0030
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0031
計						

電気設備工事 細目別内訳

1号棟		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
S P - 1 LED非常用照明器具 蓄電池内蔵型	防湿・防雨型ブラケット HF32形 × 1灯 相当	3	個			
S P - 2 LED非常用照明器具 蓄電池内蔵型	防湿・防雨型 FL20形 × 1灯 相当	12	個			
非常用照明器具 リモコン	電池共	1	個			
ケーブル		1	式			別紙 00-0032
電線管		1	式			別紙 00-0033
ボックス類		1	式			別紙 00-0034
はつり工事		1	式			別紙 00-0035
撤去		1	式			別紙 00-0036
計						

1号棟		テレビ共同受信設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
パラボラアンテナ 取外し・移設	750以下	2	組			
パラボラアンテナ 取外し・移設	1200	2	組			
パラボラアンテナ 取外し・復旧	750以下	2	組			
パラボラアンテナ 取外し・復旧	1200	2	組			
計						

1号棟		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0037
発生材運搬		1	式			別紙 00-0038
発生材処分		1	式			別紙 00-0039
スラップ'処分		1	式			別紙 00-0040
計						

2号棟		電灯設備			電灯分岐	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
S P - 1 LED非常用照明器 具 蓄電池内蔵型	防湿・防雨型ブラケット HF32形 × 1 灯 相当	2	個			
S P - 2 LED非常用照明器 具 蓄電池内蔵型	防湿・防雨型 FL20形 × 1 灯 相当	8	個			
	ケーブル	1	式			別紙 00-0041
電線管		1	式			別紙 00-0042
ボックス類		1	式			別紙 00-0043
はつり工事		1	式			別紙 00-0044
撤去		1	式			別紙 00-0045
計						

2号棟		テレビ共同受信設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
パラボラアンテナ 取外し・移設	750以下	1	組			
パラボラアンテナ 取外し・復旧	750以下	1	組			
計						





1号棟		換気設備			ダクト設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
台所換気扇 撤去	20cm 風圧式シャッター付き	12	か所				
台所換気扇 新設	20cm 風圧式シャッター付き	12	か所				
計							

1号棟		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0054
発生材運搬		1	式			別紙 00-0055
発生材処分		1	式			別紙 00-0056
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0057
計						

2号棟		換気設備			ダクト設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
台所換気扇 撤去	20cm 風圧式シャッター付き	8	か所				
台所換気扇 新設	20cm 風圧式シャッター付き	8	か所				
計							

2号棟		発生材処理			ダクト設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
発生材積込		1	式			別紙 00-0058	
発生材運搬		1	式			別紙 00-0059	
発生材処分		1	式			別紙 00-0060	
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0061	
計							

1号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生	階段室含む	1	式			別紙 00-0001
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	599	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)		322	m <sup>2</sup>			
計						
整理清掃後片付け	階段室含む	1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	599	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)		322	m <sup>2</sup>			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0003
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ20m未満 建地幅900mm 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	1,512	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ20m未満建地幅900mm+7'ラット枠 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	10.9	m <sup>2</sup>			
計						

1号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部足場		1	式			別紙 00-0004
バルコニー 外部仕上足場	脚立足場	142	m <sup>2</sup>			
屋内階段 外部仕上足場		80.4	m <sup>2</sup>			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0005
災害防止 垂直養生 工区	枠組金網張り(1段目) 掛払い手間・賃貸料金・維持管理費 共	221	m <sup>2</sup>			
災害防止 垂直養生 工区	メッシュシート張り 掛払い手間・賃貸料金・維持管理費 共	1,353	m <sup>2</sup>			
出入口養生	住居者出入口	3	か所			
計						

1号棟		直接仮設					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0006	
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	142	m <sup>2</sup>				
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		80.4	m <sup>2</sup>				
仮設材運搬 (金網式養生枠)		221	m <sup>2</sup>				
仮設材運搬 (シートネット類)		1,353	m <sup>2</sup>				
計							

1号棟		防水改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2)	1	式			別紙 00-0007	
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	370	m				
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	47.6	m				
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 20×10	1,013	m				
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 20×10	21.3	m				
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	0.4	m				
計							

1号棟		建具改修			撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
シーリング撤去		1	式			別紙 00-0008	
シーリング撤去	集積共	958	m				
計							

1号棟		建具改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
建具周囲シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2)	1	式			別紙 00-0009	
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10 x 10	958	m				
計							

1号棟		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0010
発生材積込み	ホ-ド・木材類 人力	2.3	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0011
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 アスファルト防水層類 DID区間有り 23.0km以下	0.4	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類 DID区間有り 8.0km以下	1.5	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石綿含有建材 DID区間有り 8.0km以下	0.3	m3			
計						

1号棟		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0012
発生材処分	木材（建設解体材）	0.1	m3			
発生材処分	アスファルト防水層類	0.4	m3			
発生材処分	廃プラ・塩ビ類	1.5	m3			
発生材処分	石綿含有建材	0.3	m3			
計						
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0013
スクラップ	鉄くず H4	0.4	t			
スクラップ	アルミくず	17	kg			
スクラップ	ステンレス	4	kg			
計						

2号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生	階段室含む	1	式			別紙 00-0014
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	401	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)		322	m <sup>2</sup>			
計						
整理清掃後片付け	階段室含む	1	式			別紙 00-0015
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	401	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)		322	m <sup>2</sup>			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0016
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ20m未満 建地幅600mm 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	286	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ20m未満 建地幅900mm 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	1,074	m <sup>2</sup>			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	高さ20m未満建地幅900mm+7'ラケット枠 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	380	m <sup>2</sup>			
計						

2号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部足場		1	式			別紙 00-0017
バルコニー 外部仕上足場	脚立足場	94.2	m <sup>2</sup>			
屋内階段 外部仕上足場		53.6	m <sup>2</sup>			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0018
災害防止 垂直養生 工区	枠組金網張り(1段目) 掛払い手間・賃貸料金・維持管理費 共	162	m <sup>2</sup>			
災害防止 垂直養生 工区	メッシュシート張り 掛払い手間・賃貸料金・維持管理費 共	990	m <sup>2</sup>			
出入口養生	住居者出入口	2	か所			
出入口養生	南西角	1	か所			
計						

2号棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0019
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	94.2	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		53.6	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (金網式養生枠)		162	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シートネット類)		990	m <sup>2</sup>			
計						

2号棟		防水改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2)	1	式			別紙 00-0020
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10 × 10	255	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10 × 10	24.6	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 20 × 10	778	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 20 × 10	14.2	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10 × 10	0.2	m			
計						

2号棟		外壁改修			改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
2号棟東面擁壁	劣化補修	1	式			別紙 00-0021	
C - 1 クラック部打放し面サ ビ鉄筋処理		1	m				
E - 2 打放し部欠損部処 理	ポリマーセメント	0.1	m <sup>2</sup>				
計							

2号棟		建具改修			撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
シーリング撤去	集積共	1	式			別紙 00-0022	
シーリング撤去	集積共	647	m				
計							

2号棟		建具改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建具周囲シリング	一般部 変成シリング系 (MS-2)	1	式			別紙 00-0023
シリング	一般部 変成シリング系 (MS-2) 10×10	647	m			
計						

2号棟		発生材処理			運搬	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0024
発生材積込み	ホ-ド・木材類 人力	1.6	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0025
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 アスファルト防水層類 DID区間有り 23.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃ガラスチップ類 DID区間有り 8.0km以下	1.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石綿含有建材 DID区間有り 8.0km以下	0.2	m3			
計						

2号棟		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0026
発生材処分	木材（建設解体材）	0.1	m3			
発生材処分	アスファルト防水層類	0.2	m3			
発生材処分	廃プラ・塩ビ類	1.1	m3			
発生材処分	石綿含有建材	0.2	m3			
計						
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0027
スクラップ	鉄くず H4	0.2	t			
スクラップ	アルミくず	11	kg			
スクラップ	ステンレス	3	kg			
計						

屋外		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0028
積込み	人力土工	0.3	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	1.9	m3			
発生材積込み	ホード・木材類 人力	1	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0029
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 土砂 DID区間有り 10.5km以下	0.3	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 8.0km以下	0.6	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 アスファルト類 DID区間有り 8.0km以下	0.3	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 がれき類 DID区間有り 8.0km以下	1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 8.0km以下	0.2	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類 DID区間有り 8.0km以下	0.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石綿含有建材 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
計						

屋外		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分		1	式			別紙 00-0030
発生材処分	建設発生土	0.3	m3			
発生材処分	無筋コンクリート類	0.6	m3			
発生材処分	アスファルト類	0.3	m3			
発生材処分	がれき類	1	m3			
発生材処分	木材(建設解体材)	0.2	m3			
発生材処分	廃プラ・塩ビ類	0.7	m3			
発生材処分	石綿含有建材	0.1	m3			
計						
スクラップ処分		1	式			別紙 00-0031
スクラップ	鉄くず H2	1.8	t			
スクラップ	鉄くず H4	7.5	t			
スクラップ	アルミくず	40	kg			
計						

1号棟		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ケーブル		1	式			別紙 00-0032
600V耐燃性シリコン樹脂ケーブル 1.6mm-2C 管内	1.6mm-2C 管内	36	m			
600V耐燃性シリコン樹脂ケーブル 1.6mm-2C ビット・天井	1.6mm-2C ビット・天井	2	m			
600V耐燃性シリコン樹脂ケーブル 1.6mm-3C 管内	1.6mm-3C 管内	101	m			
600V耐燃性シリコン樹脂ケーブル 1.6mm-3C ビット・天井	1.6mm-3C ビット・天井	3	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0033
厚鋼電線管(G)	露出配管 22mm	9	m			
耐衝撃性硬質ビニル管(HIVE)	露出配管 16mm	24	m			
計						

1号棟		電灯設備			電灯分岐	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ボックス類		1	式			別紙 00-0034
金属製 露出スイッチボックス	25(22) 1個用2方出	3	個			
フラッシュプレート (ステンレス製)	角型 防雨カバープレート 取付枠共	3	個			
金属製 露出丸形スイッチボックス	25(22) 2方出	3	個			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0035
機械はつり(ダクト作 り用) ポンプカッターによる 配管用貫通口)	100~150mm 38mm	9	か所			
計						

1号棟		電灯設備			電灯分岐	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去		1	式			別紙 00-0036
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W × 1 再使用しない	15	個			
600V絶縁電線 撤去	1.6mm × 1本 再使用しない	142	m			
600V絶縁ケーブル 撤去	1.6mm- 2C 管内 再使用しない	52	m			
600V絶縁ケーブル 撤去	1.6mm- 3C 管内 再使用しない	23	m			
計						



2号棟		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ケーブル		1	式			別紙 00-0041
600V <sup>※</sup> リンゴ線 耐燃性 <sup>※</sup> リンゴ線 ケーブル <sup>※</sup> 扁平形 EM-EEF	1.6mm- 2C 管内	24	m			
600V <sup>※</sup> リンゴ線 耐燃性 <sup>※</sup> リンゴ線 ケーブル <sup>※</sup> 扁平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ビット・天井	1	m			
600V <sup>※</sup> リンゴ線 耐燃性 <sup>※</sup> リンゴ線 ケーブル <sup>※</sup> 扁平形 EM-EEF	1.6mm- 3C 管内	67	m			
600V <sup>※</sup> リンゴ線 耐燃性 <sup>※</sup> リンゴ線 ケーブル <sup>※</sup> 扁平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ビット・天井	2	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0042
厚鋼電線管 (G)	露出配管 22mm	6	m			
耐衝撃性 硬質ビニル管(HIVE)	露出配管 16mm	16	m			
計						

2号棟		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ボックス類		1	式			別紙 00-0043
金属製 露出スイッチボックス	25(22) 1個用2方出	2	個			
フラッシュプレート (ステンレス製)	角型 防雨カバープレート 取付枠共	2	個			
金属製 露出丸形ボックス	25(22) 2方出	2	個			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0044
機械はつり(ダクト バンドカッターによる 配管用貫通口)	100 ~ 150mm 38mm	6	か所			
計						

2号棟		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去		1	式			別紙 00-0045
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 再使用しない	10	個			
600V絶縁電線 撤去	1.6mm × 1本 再使用しない	95	m			
600V絶縁ケーブル 撤去	1.6mm- 2C 管内 再使用しない	35	m			
600V絶縁ケーブル 撤去	1.6mm- 3C 管内 再使用しない	16	m			
計						

2号棟		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積み込み		1	式			別紙 00-0046
発生材積み込み	照明器具・ケーブル類 人力	0.3	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0047
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 金属くず類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 蛍光管 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0048
発生材処分	金属くず類	0.1	m3			
発生材処分	蛍光管	0.1	m3			
発生材処分	廃プラ・塩ビ類	0.1	m3			
計						



屋外		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0051
発生材積込み	照明器具・ケーブル類 人力	0.2	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0052
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 金属くず類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0053
発生材処分	金属くず類	0.1	m3			
発生材処分	廃プラ・塩ビ類	0.1	m3			
計						

1号棟		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込		1	式			別紙 00-0054
発生材積込み	ホ-ド・木材類 人力	0.2	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0055
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類 DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 保温くず DID区間有り 8.0km以下	0.1	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0056
発生材処分費	廃プラスチック	0.1	m3			
発生材処分費	保温くず	0.1	m3			
計						



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス 工区	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料・賃料・修理費・掛払手間 ・運搬共	34.8	m			
ガードフェンス 工区	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料・賃料・修理費・掛払手間 ・運搬共	3.6	m			
金網扉 工区	W900×H1800 基本料・賃料・修理費・掛払手間共	1	台			
防災シート張り 工区2号棟物入	既設メッシュフェンスH1.5m 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	12.8	m <sup>2</sup>			
仮囲い+ 防災シート張り 工区2号棟物入	ガードフェンスH1.8m 掛払い手間・往復運搬費・賃貸料金 ・維持管理費共	9	m			
転落防止R-フ 張り 工区2号棟物入	トラロープ3本	23.7	m			
キャスターゲート 工区	幅3.0×高さ1.8m 片開き×2 基本料・賃料・修理費・掛払手間共	1	台			
仮設駐輪場 ・ 工区共用	W5.5×D1.8×H2.1m 単管パイプ組・屋根 賃貸料金・建払い手間 基礎・運搬費共	1	式			
交通誘導警備員 工区	1日1人程度	100	人			
交通誘導警備員 工区	1日1人程度	75	人			
工事中情報共有シ ステム利用料		1	式			
計						